

萌黄 (もえぎ) 通信



新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願い致します。
昨年は、激動な1年間でした。今年は、
前向きで、ワクワク出来るような、明るい

1年にしていきたいと思っています。

毎年、一月は遅い始動なのですが、今年も既に、仕事始め
をしている堀内貢次です。毎朝とても寒い日が続いていますが、
気合を入れて頑張っていきたいと思います。

朝早いと、山梨の駐車中の車には、フロントガラスが凍っ
ていて、スクレーパー掛けが日課になっています。日に日に
氷の厚さや硬さが増しているのを実感しています。2月の下
旬くらいまでは、こんな状態が続きます。

「ピアノ発表会」

先月は、妻の生徒のピアノ発表会のお手伝いをしてきまし
た。そう言っても、私の出来ることは、ただ、椅子に座って、

生徒の演奏を撮影するくらいなのですが、5時間近く座り続けるのも結
構きついんですね。妻も退院後には、
この発表会のために精力的に頑張っ
ていたのでも、無事に終わってほっと
しました。打ち上げ会の乾杯ビール
がとても美味しかったです。



「エントランス外構の目地部分の吸上げシミ」

今月の石材メンテナンスは、マンションのエントランス部
分の床石が目地の小口から湿気を吸い、濡れ色状態になっ
ている現場からです。石の裏へは、裏面処理はしているよう
で、全体には濡れ色は出ていないようです。しかし、敷石の
下地が建物側に向いているためか、エントランスには庇があ
るにもかかわらず、濡れ色が出ている感じがします。この
ような状態の場合、表面からのコート処理（浸透性吸収防止
剤）が有効なのですが、濡れシミの出ている部分だけを
コート塗布して対処すると、雨天時には、表面部分の
コートが効いて濡れ色にならなくなってしまうのと、その
部分へは洗浄も行うので、石自体も綺麗になり、まだら
でブチ状態になってしまうのを避けるためには、施工対象
部分をはっきりと区切り、その部分の全面を洗浄とコート
施工をする必要があります。

洗浄後にシミ抜き剤を塗布して、裏面からの吸い上がった
アルカリ水のシミを抜いていきます。それから石を乾燥さ



目地部分の吸上げシミ状態

せながら、コート処理をして
いきます。恐らく、今回のよ
うな現場の場合、1回の施工
では、止まりきらないので、
乾燥状態のいい日を見ては
繰り返し作業が必要になっ
てくるかと思えます。



シミ抜き剤塗布



シミ抜き、コート施工後

「築30年以上の外構の御影洗浄」

あるビルの白御影石の床石が、築30年のために、ヒビ
や割れが出ている所を、部分的に張り替えるようです。出
来るだけ新品の御影石に近づけたいとのことで、洗浄のお
見積依頼が来ました。白御影石の場合は、表面からの汚
れならば、比較的白い状態には戻せるので、ビルの管理を
している担当者様には、かなり喜んで頂けました。



(編集後記) 昨年の12月は、現場が重なり、震災以来閑
散とした状態が嘘かのように、忙しい1ヶ月間でした。そ
のため、この会報誌の12月号が発行できず、誠にすみま
せんでした。今年も「萌黄通信」よろしくお願い致します。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp